

誓いの言葉

本日は、20歳という人生の節目に、このような盛大な式典を開催していただきまして、誠にありがとうございます。また、ご多忙の中、ご臨席賜りました小相澤副市長をはじめ、来賓の皆様、式典開催に多大なるご尽力をいただきました皆様に、新成人を代表いたしまして、心より御礼申し上げます。

さて、新成人のみなさん、こうして久しぶりに集えたことをうれしく思います。懐かしい顔ぶれと再会し、様々な思い出が脳裏に蘇ってきていることでしょう。2017年10月15日、皆さんはこの日のことを覚えていますか。金管バンド東海大会の日です。演奏者のみならず、6年敬組全員で作り上げ、東海大会出場を成し遂げたことは、未来永劫忘れることのない私の思い出です。金管バンドに入るかどうかを決めるときだったでしょうか。山下先生は私たちに「金管バンドに入って絶対に後悔させない。」と仰ってくださいました。この言葉を信じて取り組んだ朝練習や休日練習は、決して楽ではありませんでした。しかし、振り返ってみると「全力でやることの大切さ」を教えていただいた時間だったと強く感じています。

現在、日本全体で人口減少が進み、特に武石地域では過疎化が大きな問題となっています。私は今、大学で街おこしや地域活性化について学んでいます。この過程で、あのとき金管バンドで培った「全力でやり抜く姿勢」こそ、これからの地域づくりに必要なものだと考えるようになりました。この武石は、素晴らしい自然と温かく頼もしい地域の方々によって築き上げてきた場所です。だからこそ、この地域の魅力を次の世代へ繋ぎ、武石をさらに活性化させるべく、大学での学びを生かし、将来この武石に貢献していきたいと思っています。

本日、私たちは大人のスタートラインに立ち、出発します。私たちの可能性の線路はどこまでも続く一方、時に脱線してしまうこともあるでしょう。しかし、そんなときも、地域の皆様の支えが、きっと私たちを再び前へと進ませてくれると思います。私たち新成人は、この上田市・武石地域への感謝を胸に、これからの人生を歩んでまいります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、本日に至るまで育ててくださいました家族や地域の皆様、ご指導いただきました先生方、そしてともに歩んだ6年敬組の皆さんに心より感謝申し上げ、誓いの言葉とさせていただきます。

ドアよし、信号もよし、それでは出発進行！

令和8年1月11日
武石公民館会場
(依田窪南部中学校区域)
代表 荻原 康生